

2020年 被爆ピアノコンサート

11月8日(日)19:00~20:30

豊田市産業文化センター小ホールにて



広島、長崎の悲劇を繰り返さないと平和を願い続けて今年で戦後75年。新型コロナウイルスの流行で各種の催しが延期や中止になりました。

毎年夏に多数の参加者を集めた平和を願う戦争展も中止になり、急遽被爆ピアノコンサートを実行委員会で企画しました。

広島在住被爆2世の矢川光則さんは、1971年ピアノ調律師となり原爆で被災したピアノを再生。2001年より日本全国1500か所以上で被爆ピアノコンサートを取り組んでいます。

被爆ピアノは2010年米国ニューヨーク、2017年ノルウェーのオスロでも演奏されました。

プログラム

1. ピアノ演奏



初めて聴く曲も心地よく空に届くような音色です。
(参加者の感想)

加藤美里さん

音楽療法、ライブやコンサート、合唱指導などジャンルにこだわらず多方面で活躍。

演目

- ☆ピアノソナタ「悲愴」第2楽章
- ☆Baby, God Bless You
- ☆星に願いを
- ☆Always 3丁目の夕日 テーマ
- ☆長崎の鐘

このピアノの持ち主はどんな人生をおくられたのでしょうか?と思いをめぐらせました。

2. 朗読 吉田かよ子さん

「むぎわらぼうしの会」代表

豊田市の小中学校、交流館を中心に岡崎や豊川でも公演。

絵本「旅するピカドンピアノ」

発行 2020年8月6日

作:まほろば 遊 絵:姿陽炎 発行:三恵社

凜とした朗読で被爆ピアノの歴史がわかりました。



朗読の伴奏は加藤美里さん



スライドの映写、「旅するピカドンピアノ」



3. シャンソン



加藤修滋さん

名古屋でライブハウス「カフェ・コンセール・エルム」を開設、東海3県を中心にシャンソン教室を展開。日仏シャンソン協会日本代表。

白梅さん

名古屋市在住、17歳。幼少よりシャンソンを歌い高校生シャンソン歌手としてデビュー。元エルム館長、加藤ハツに影響を受け平和を願う歌・反戦歌を積極的に歌う。



演目

- ☆ヒロシマ (加藤修滋 演奏)
- ☆プチ・フランク (白梅 歌)
- ☆ゲッティンゲン (白梅)
- ☆初めての日のように (白梅)
- ☆祈りを捧げて (白梅&加藤修滋)

戦争孤児を歌った曲「プチ・フランク」や反戦歌「ゲッティンゲン」に感動しました。

シャンソンならではの反戦歌が心に響きました。歌声がきれいでかわいい。シャンソンは聞く機会が少なかったのがよかった。



4. ピアノ弾き語り

演目

☆糸

☆ひだまりの香り

☆アメージング・グレース



若渚さんののびやかなすばらしい歌声に感動。力強いひびき・思いがしっかり伝わる高音の伸びは素晴らしい。

若渚さん

豊田市出身、在住。20歳。「全盲の歌姫」として活動。全国各地でコンサートや公演を重ねテレビ番組にも多数出演。令和2年度豊田市文化振興財団の文化新人賞を受賞。



「糸」は心に染みました。「アメージング・グレース」はとても感動的。プログラム全体の選曲がよかった。

被爆ピアノコンサート実行委員会から



核兵器禁止条約の批准国が世界で 50 ヶ国となり、2021年1月正式発効とのニュースの紹介があり会場の参加者で喜びを共有しました。



ロビーでのパネル展示: 1945年8月14日にトヨタ本社工場を狙った模擬原子爆弾(パンフキン)3発が投下された。

[トップページに戻る](#)